

神川沿岸土地改良区とは？

うちのおじいちゃん、神川沿岸土地改良区の総代
なんだけど、この団体ってなに？



ぱんくん
りんご農家の三代目
平日は会社員だよ

正式名称は、「長野県神川沿岸土地改良区」というよ。
土地改良法の制定(昭和 24 年)をうけて、昭和 27 年 5 月 26 日に設立されたんだ。
上田・東御地区は全国的にも少雨地帯で、昔から水不足に悩まされていたんだよね。
そこで、「雪解け水や梅雨の雨水を貯えて、夏の渇水時に使えるようダムが欲しい」とい
う強い願いでできた改良区なんだ。
ちょうどその頃、神川の上流での硫黄採掘に対する鉱毒反対運動がおこったんだけど、設
立されたばかりの神川沿岸土地改良区が大きな役割を担って、きれいな神川をまもったん
だ。



そんなことがあったんだ、びっくり！



くま事務局長
地区内に水田を所有
休日は農作業に大忙し

菅平ダムは、当時の地域の方々、関係市町村等の粘り強い取り組みの結果、建
設の承認や地元負担金等の難問題を乗り越えて、昭和 43 年に完成した。
ダム建設と併せて造られた左岸幹線水路のおかげで、神川の水は東御市まで
届くようになって、米だけじゃなく、リンゴやブドウの一大産地になった。
最近、ワイナリーがあちこちに来て、ワイン用ブドウの栽培面積が増え
ているね。
詳しい歴史は、70周年記念誌やホームページ(左下のQRコード)をみてね！



東御市まで神川の水が行っているなんて、びっくり！



神川沿岸

神川沿岸土地改良区は、菅平ダムを中心に神川左岸で 7 か所(中島堰は
左岸幹線水路から分水)、右岸で 7 か所の取入を行っていて、なんと 15 堰
もある。堰はそれぞれの水利組合が日々の管理を行っているんだよ。
危険を伴う作業が多いから、組合員の皆さんには本当に感謝だね。

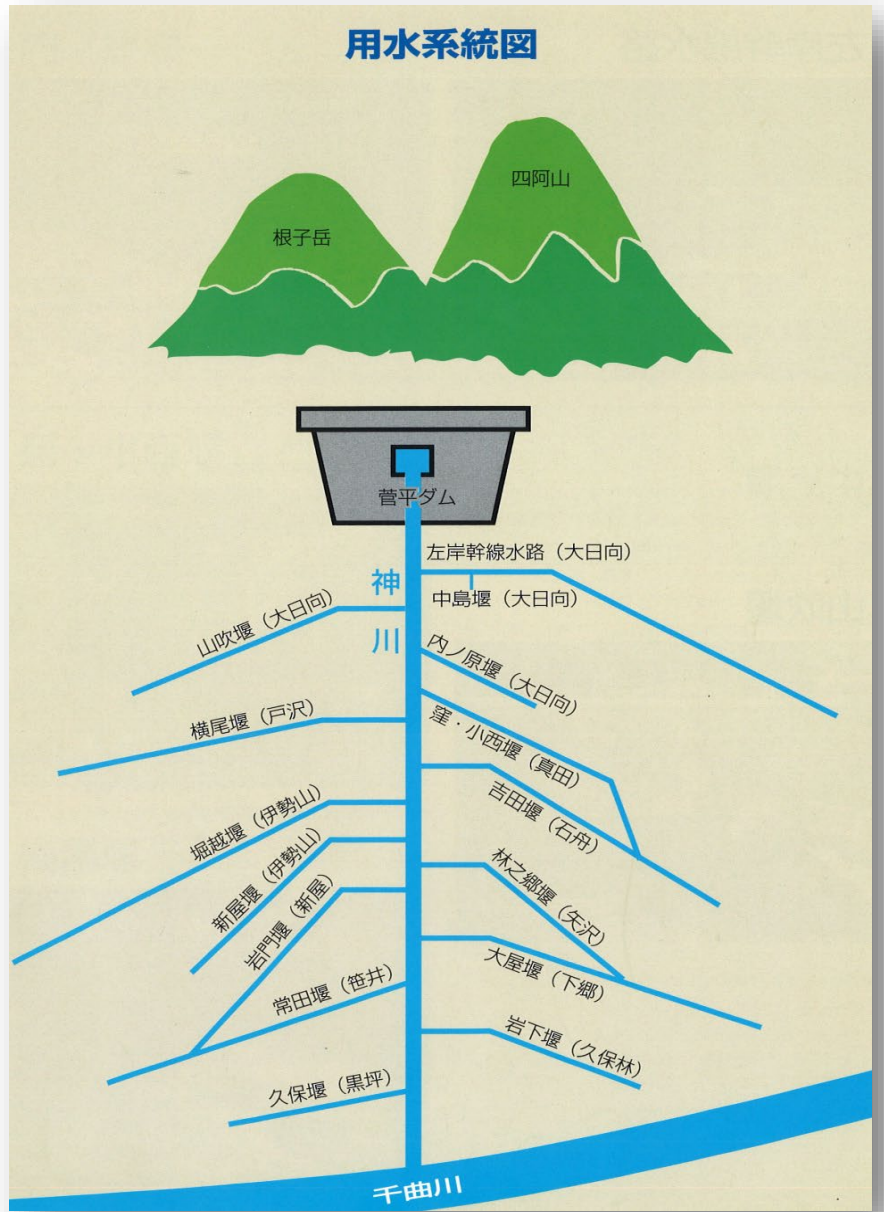


堀越堰は一度矢出沢川に金井橋付近で放水し、再度取水しているよ。



菅平ダムは、建設から50年以上を経過し、水門(ゲート)や制御設備などはすでに耐用年数を超えているため、平成28年から、これらの設備の更新と、ダム湖底の堆積土を置くためのストックヤード、小水力発電施設の整備を行っています。

また、令和7年度から、あらたな事業として、ダムに堆積した土砂の撤去も始まります。



社会経済情勢が大きく変化するなかで、農地や農業用水は、食料の安定供給に欠かせない基盤であるとともに、国土の保全や美しい農村景観など、多面的な機能を持つ大切な資源でもあるという意識が高まるなか、長野県をはじめ地元の上田・東御の両市の行政機関のご理解とご協力を得ながら、活動をすすめています。

しかし、宅地化や農家の高齢化や後継者不足等による耕作放棄地の増加、人々の水への感謝が薄れていること等、改良区をとりまく環境は年々厳しくなっています。



受益面積 1165.5ha (上田市 796.3ha 東御市 369.2ha)

組合員数 3,678人 (上田市 2,810人 東御市 868人)

※受益面積、組合員数はR7.4.1現在

事務局は、上田市真田地域自治センターにあります

